型枠解体作業中、足場上階からブラケットが落下

飛来落下ー２

災害発生時記録	発生月日　時	4月13日(金)　15　時40分			工事内容	分譲マンション新築工事ーRC造　15階　　69戸　H＝45．5m　延床＝6430m2		
	被災者	職種	型枠解体工	経験年	10	所属	元請　　直営　　〇3次会社　　1人親方　　請負外契約	初期の対策状況含む事項(写真含)
	被災程度		首部打撲による頸椎捻挫					

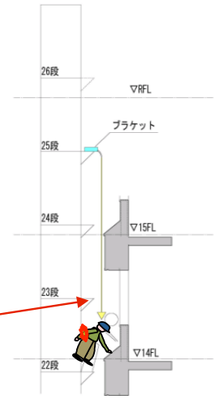
災害発生状況（写真）

当日は外部型枠解体作業とその上段で足場の組み立て作業が行われていた。
被災者は外部足場上（22層目）で外壁の型枠を解体していたところ、上階の足場組立作業箇所からブラケット
材が落下し、負傷したものである。 落下したブラケット材は鋼製布板の上に置いてあったものが何らかの
原因でずれて落下したと思われる。

ブラケットが落下して首の後ろに激突

初期の対策状況含む事項(写真含)

足場組立作業班はブラケット材を布居板の上に放置した状態で休憩に入っており、何が原因で
ブラケット材が落下したかは不明である。 休憩から戻ってきた時、
物音がしたため様子を見に行くとブラケット材が当たり負傷した、
被災者を発見した。 被災の程度は頸椎捻挫いわゆるムチウチ症
であったが症状が重たかったため、148日の休業となった。



ブラケットが張り出し足場と躯体コンの間を落下

番号	災　害　発　生　要　因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コ　メ　ン　ト(追記・確認すべき事項)
1	外部足場内側で上下作業を行っていた。	〇		〇	1　安全打ち合わせ時に上下作業とならぬよう元請けが主体となり工程等の調整を確実に行う。	上下作業による災害の代表例です。 上下作業は原則禁止ですが工程等の理由によりやむお得ず上下作業となる場合があります。 その際は事前に物体の落下に対して有効な措置を講じることが重要で有り、下請け任せにしないで元請けが関わることが大事です。
2	足場上に不安定な状態で置いたこと。	◎			2　資材等は振動等で落下しないよう番線等で固定したり、小物類は箱に入れるなどの落下防止措置を講じる。	

調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に〇マークの記入　　②3要因(人的･物的･管理的)に関係･該当する要因に〇ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。(添付要因資料参照)